

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		キッズすてっぷとうひ				公表日	2025年 1月 10日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6		活動に合わせてスペースを確保したり、状況に応じて部屋を分けたりしている。			
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6		基準に基づいた配置が適切に出来ている。			
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	2	4	玄関に階段や段差があるが、見守りや補助を行い、安全に留意している。			
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6		換気や室温調整、清掃を行い、適宜、消毒をしている。			
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6		状況に合わせて対応している。			
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6		毎日のミーティングで、目標設定と振り返りを行い、よりよい支援を目指している。			
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		評価表や面談時などのご意見やご要望を受け止め、業務改善に繋がるよう努めている。			
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		毎日のミーティングで、活発に職員の意見交換を行なっている。			
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		6		現在行っていない。今後、必要に応じて検討していく。		
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6		積極的に外部研修を受け、全職員への周知研修を行っている。			
適切な支援の提	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6		作成し、公表している。			
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6		アセスメントを行い、ニーズや課題を分析した上で個別支援計画書を作成している。			
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6		日々のミーティングやモニタリング会議、個別支援会議などで共通理解を図り、最善の利益を考慮し、検討している。			
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6		会議を行って計画書を作成し、計画書内容も職員間で共有している。			
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6		アセスメントツールを用いて、確認している。			
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6		本人支援、家族支援、移行支援、地域支援・地域連携のねらい、支援内容を踏まえて具体的な支援内容を設定している。			
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6		活動プログラムは、ミーティングを行い、チームで立案している。			
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6		常に、見直しを行い、状況に応じた支援が出来るようにしている。			

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6	個別活動と、集団活動を組み合わせ計画を作成し支援を行っている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	毎日、ミーティングを行い、支援内容や役割分担の確認を行っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	毎日支援後に振り返りを行い、気づいた点を共有している。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	支援後に毎日記録をとり、検証・改善に努めている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直し必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	定期的にモニタリングを行い、計画の見直しをしている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	6	「自立支援と日常生活の充実のための活動」「創作活動」「地域交流の機会の提供」「余暇の提供」を組み合わせ支援を行っている。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6	自分で選んで決められる環境づくりに努めている。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	児童発達支援管理責任者が参加している。状況に応じて、保育士や療法士も参加している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	連携体制は整えている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6	必要に応じて、連絡調整を行っている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	3	必要に応じて、情報共有に努めている。	(未記入：3)
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	6	必要に応じて行っている。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	6	連携を取り、研修を受けている。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	6	地域の公園に出かけたり、読み聞かせイベントなどに参加して、地域の子どもとの交流の場に努めている。	放課後児童クラブや児童館との交流の機会は、現在ないので、今後、検討していきたい。
	33	(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	6	地域での協議会に積極的に参加している。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	連絡帳や送迎の時間に、状況をお伝えし、共通理解が持てるように努めている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	地域で行われているペアレントトレーニングや研修会の情報提供を行っている。また、必要に応じて、助言を行っている。	ペアレントトレーニングは行っていない。今後、検討していく。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	契約時に必ず行っている。不明な点は、その都度説明を行っている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	面談時などに意向を確認している。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6	支援内容の説明を行い、同意を得ている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	相談に対し助言や支援を行っている。	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	6	地域で行なわれている、保護者交流の場の情報提供を行っている。	現在、父母の会や保護者会の機会は設けていない。今後、検討していく。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	苦情には迅速に対応し、職員間で話し合い解決に努めている。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	6	毎週ブログの更新、毎月通信の発行、行事予定の発行を行っている。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	十分に留意している。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	特性に合った対応を心がけ、情報伝達のための配慮をしている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	6	地域の清掃活動を行っている。	事業所の行事への招待は、行っていないが、今後、検討していく。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	各マニュアルを作成し、周知している。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	定期的に訓練をおこない、避難経路・避難場所の確認などを行っている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	6	ご契約時に必ず確認している。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	1	ご契約時に必ず食物アレルギーの確認を行っている。	(未記入：5) 現在、食物アレルギーのご利用者はいないが、対応については職員間で共有している。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	安全管理に必要な研修や訓練を行っている。	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	安全計画をホームページで周知している。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	記録を共有し、再発防止に向けた検討を行っている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	研修に参加し、事業所での周知研修を行っている。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6	現在、身体拘束を行うことはない。必要がある場合は、切迫性・非代替性・一時性の要件を満たしているかを組織的に決定し対応していく。		